

請 願 ・ 陳 情 文 書 表

令和元年 9 月定例会

受 理 番 号	3	受 理 年 月 日	令 和 元 年 9 月 1 7 日
請 願 ・ 陳 情 者	渋川市赤城町滝沢 6 4 番地 2 赤城橘農業協同組合 代表理事組合長 萩原 一夫 渋川市渋川 1 5 7 番地 北群渋川農業協同組合 代表理事組合長 今井 勉		
紹 介 議 員	山崎 雄平		
付 託 委 員 会	経済建設常任委員会		
<p>豚コレラ感染拡大防止対策における豚へのワクチン接種の意見書採択に関する請願書</p> <p>【請願趣旨・理由】</p> <p>平成30年9月9日に岐阜市の養豚場において、国内で26年ぶりの豚コレラが発生して以来、1年を経過しましたが、農家においては飼養衛生管理基準の遵守を徹底し、国・県では野生イノシシへの経口ワクチン投与など対策をとっていますが、依然として終息は見えない状況であります。また、9月13日には隣県の埼玉県（秩父市の養豚場）、9月14日には長野県畜産試験場（塩尻市）において豚コレラの患畜が確認され、42例目の発生となりました。</p> <p>豚コレラ発生後、2年以内に終息する気配はなく、さらに感染が拡大している状況では非清浄国となるのは時間の問題と考えております。養豚農家は豚コレラの感染におびえながら日々従事し、心身ともに疲弊している状況が続いていることから、安定した食肉を提供することができなくなることが予想されます。</p> <p>こうした観点から、一刻も早く感染防止に効果のあるワクチン接種を切望するものであり、地方自治法第99条の規定に基づき、国の関係機関への意見書提出を請願いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 飼養豚へのワクチン接種を早期に実施すること。 2 ワクチンの増産体制を整備すること。 3 ワクチン接種豚の流通に制限がかかることのないよう、円滑な流通が図られる仕組みを講じること。 			